

水産業強化支援事業事後評価報告書

		愛媛県農林水産部 水産局水産課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		経営構造改善目標	
事業実施主体		愛媛県	
実施地区名		宇和島地区、愛南地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		令和２年度～令和３年度	令和５年度
交付金額		6,600,000 円	
事業計画の内容		テレメーターブイ３基の設置	
評価	成果目標	１ 稚貝の保有数の維持 ２ 母貝の保有数の維持 ３ １経営体あたりの販売額の向上	
		現状値	（令和５年度末時点） １ 2,611 万個 ２ 1,697 万個 ３ 416.1 万円
		目標値	（令和５年度末） １ 2,678 万個 ２ 1,697 万個 ３ 426.9 万円
	（１）現状値の説明		令和３年度時点では、ビルナウイルスによる大量へい死の影響もあり、稚貝の保有数 1,417 万個と大幅に減少していたが、その後はテレメーターブイによる細やかな海況データの確認の成果もあり、保有数は大幅に増加し、令和５年度末時点で、稚貝の保有数 2.611 万個と目標値にほど近い水準を維持することができた。このため、母貝の保有数についても向上し、目標値と同水準を維持することができ、１経営体あたりの販売額についても概ね同水準となっている。

	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	(1) に記載のとおり、母貝は、概ね目標どおりの保有数を維持することができ、母貝養殖業者は一定の所得が維持できていると考えられる。これに加え、母貝を用いて行われる真珠養殖についても、真珠の単価が向上しており、愛媛県農林水産統計年報によると、平成 26～30 年平均が 2,817 円/匁だったのに対し、令和 4 年平均が 6,644 円/匁と、約 2.3 倍に上昇しており、本事業によって、真珠母貝数を維持することができたことにより、地域における基幹産業である真珠産業の活性化及び所得向上に繋がっている。
	(3) 所見	施設は目的に沿って適切に使用されていることにより、概ね成果目標を達成することはでき、真珠産業全体の活性化に貢献できた。
	(4) 評価機関の意見等	問題なく使用されているため、特になし。
今後の改善方向等に関する分析		引き続き、適切に施設を使用していく予定である。